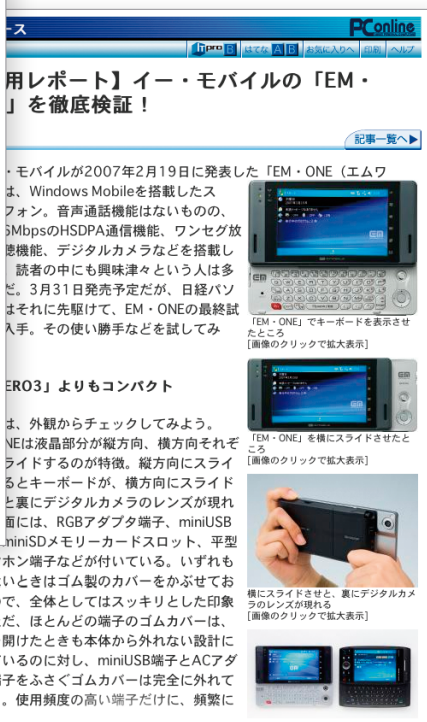




年間アクセス・ランキングから見る

2007年の重大トピックス



2007年もいろいろなニュースがICT業界を駆けめぐり、ITproに掲載したニュース記事は1年間で5000本を超えた(解説記事やコラムなどは除く)。読み切れないほど大量にある記事のうち、特に良く読まれた記事をアクセス・ランキングという形でお届けする。

ITproのニュース記事の総合ランキングを見ると、第1位はiPhone、第3位はイー・モバイルのEM・ONEだ。どちらもスマートフォンに分類される携帯端末で、11月に米Googleが公表したAndroidも含めて、2007年はスマート

フォンが大きな関心を集めたと言えよう。

ケイタイ関連では、アイピーモバイルの経営破綻(第13位)、「ホワイトプラン」に代表されるソフトバンクモバイルの料金戦略に関連するニュース(第14位、第18位)も話題になった。

トップ10にランクインした記事には、セキュリティ関連ニュースも多い(第4位、第5位、第8位)。数年前のように爆発的にウイルスがまん延してTVニュースにまで取り上げられることはなくなったが、ポットに代表されるように人知れずコンピュータに潜り

込む手口は今もなお続いている。また2007年は、ネットを流れる全メールの90%以上がスパムメールだったとも言われている。セキュリティ・パッチが公開されるまでに、そのぜい弱性を突くゼロデイ攻撃もいくつも報告された。こうしたセキュリティ問題は、残念ながら2008年も続くだろう。

このほか、システム障害を速報したニュースや、災害時にオフィスや工場がどうなったかをレポートした記事が、トップ20にいくつかランクインした。例えば、10位と11位の日全空シス

C O N T E N T S

マネジメント	p.96
内部統制に明け暮れた1年 トラブル頻発でBCPにも脚光	
情報システム	p.98
身近なシステム・トラブルと 社会的な話題に高い関心	
Windows	p.100
XPのニーズを残しつつ Vistaの時代が始まる	
オープンソース/Linux	p.102
OpenOffice.orgや軽量言語 仮想化に注目集まる	
サーバー&ストレージ	p.104
データセンター問題が焦点に 仮想化と省電力で解決へ	
Development	p.106
基礎解説記事が人気 Delphi入門も根強い	
セキュリティ	p.108
PDFなどの新たなスパムや ゼロデイ攻撃の対象が広がる	
ネットワーク	p.110
明暗分かれた新規携帯事業者 iPhoneやNGNなどの新顔も	

テムのトラブル、20位のPASMOのシステム障害、15位の震度5強の地震時でもシャープ亀山工場に被害が出なかったことを速報したニュースなどだ。ITproでは、単にシステム障害を報告するだけでなく、そのトラブル経験を次に生かし、BCP(事業継続計画)として役立てられるようにするために、2008年もウォッチしていくつもりだ。

以下では、ITproのテーマサイトに合わせた分野別の記事ランキングを掲載する。2007年の総括として確認していただきたい。(三輪 芳久=ITpro)

総合アクセス・ランキング



2007年1月~12月

- 1 “未熟な傑作マシン”だった「iPhone」、
使ってみて初めて分かった実像
- 2 社内のPC700台から
MS Officeを削除したアシスト
- 3 【試用レポート】イー・モバイルの
「EM・ONE」を徹底検証！
- 4 最優秀アンチウイルス・ソフトは「AntiVirusKit」、
最下位は「Microsoft OneCare」
- 5 アイコンを「バンダ」にするウイルスが蔓延、
Webアクセスで感染
- 6 YouTubeより高画質、
販売もできる動画サービス「Stage6」が話題
- 7 【特別インタビュー】
任天堂岩田社長が「Wii」に込めた想い
- 8 あの「Lhaca」がアブない、
日本標的のゼロデイ・ウイルス発見
- 9 ハードディスクのデータ復旧はこうして行われる
- 10 全日空システム障害はデータ滞留が焦点に、
通信機器は前日に兆候も
- 11 全日空システムの障害原因は、
事前のシステム入れ替え
- 12 【CES2007】壁紙の滝が流れ出す！
これがVistaの動く壁紙だ
- 13 アイビーモバイルが携帯参入
取りやめ、事業資金を集められず
- 14 ソフトバンクも定額制には白旗？
ドコモ新料金に初の「追随せず」
- 15 制震構造のシャープ亀山工場、
震度5強でも被害なし
- 16 話題の電力線通信
アダプタの実力を検証！
- 17 マイクロソフトのWebページが
改ざん、「パイまみれの写真」を掲載
- 18 ソフトバンクモバイルの新料金
プランを既存プランと比較してみた
- 19 話題の仮想世界「Second Life」に
突入取材、そこには「小京都」もあった
- 20 都営地下鉄のPASMO定期が無償発行
のミス、19日までにプログラム改修

内部統制に明け暮れた1年 トラブル頻発でBCPにも脚光

ITproのテーマサイト「マネジメント」では、企業情報システム開発・運用のプロジェクト・マネジメント、ITを活用した企業経営や業務改革、内部統制、BCP（事業継続計画）といった幅広い分野の情報を発信している。他のテーマサイトに比べて、時事ネタよりも解説記事やオピニオン記事などの比率が高いため、2007年によく読まれた記事20本のタイトル（右ページ）だけを見ても「重大トピックス」を語ることはできない。そこで、あまりランキングにとらわれないことと、内部統制とBCPを中心にマネジメント関連の重要な出来事を振り返ってみたい。

J-SOX対応のガイドラインが登場

IT関係者で「内部統制」や「日本版SOX法（J-SOX）」という言葉一度も聞いたことがない、という人はほとん

どいないだろう。実際、これらの言葉は、読者が2007年に注目したキーワードと2008年に注目したいキーワードの両方で第1位となった（p.22参照）。IT関係者の仕事に直接関係あるかないかは別にして、2007年の最大の話題の1つであったことは間違いない。

J-SOXとは、上場企業の財務報告のウソや誤りを排除することを目的とした、金融商品取引法の「内部統制報告制度」のこと。この制度は2008年4月に始まる事業年度から適用される。このため、本番開始までの残り時間が刻々と少なくなるなか、対象企業は文書化作業や情報システムの見直しなどの対応に追われている。

内部統制に関して2007年に最も注目された出来事は、何と言っても2月15日に金融庁が「実施基準」を公表したことだろう。実施基準とはJ-SOX対

応の実務上のガイドライン（指針）のこと。当初予定よりも公表が遅れ、J-SOX対応に取り組む企業が首を長くして待っていたが、2006年6月に金融商品取引法が成立してから8カ月を経て、ようやく内容が確定した。

実施基準が出たとはいえ、J-SOX対応の対象業務や作業内容にあいまいな部分も残っている。このため、その後も複数の省庁や団体から様々なガイドラインが発表された。

3月には経済産業省がIT統制のガイドラインを公開。8月には金融庁がJ-SOX関連の内閣府令を公布、10月には同庁が「Q&A集」を公開した。さらには11月には日本公認会計士協会が、J-SOXの監査人に向けた「IT統制の枠組み」の草案を公表した。2008年は企業がこれらを参考に準備した内部統制の運用がよいよスタートする。

“ビジネス停止”に直面する企業

2007年は、深刻な自然災害やシステム・トラブルによって、多くの企業が“ビジネス停止”の危機に直面した年として記憶に残りそうだ。

自然災害では、3月に能登半島地震が発生。7月には新潟県中越地方が2004年に続いて巨大地震に見舞われた。

システム障害では、5月にJR東日本・東海・西日本の予約サイト障害、NTT東日本のひかり電話サービス障害、全日空の国内線システム障害が相次いで発生。それ以降も、6月には社会



2007年はBCPの重要性を再認識させる事件が頻発した

左は国内線システムの大規模障害について謝罪する全日空の幹部。右は新潟市が2007年8月に実施したIT防災訓練において、陸路で運ばれてきたメインフレーム部品。

ITpro 2007年 アクセス・ランキング

Management
[マネジメント]

保険庁の年金システム障害, 10月には首都圏16鉄道の自動改札機システム障害が起きた。

これらの事件は, 自然災害やシステム障害に直面した当事者だけでなく, 取引やサービス利用など様々な形で関係している多くの企業や社会生活全般に, 極めて重大な影響を及ぼした。その教訓として企業は, 単なる防災や障害対策ではなく, ビジネスをいかに止めないようにするかという観点からリスクを洗い出して対応策を準備する「BCP」の重要性を改めて認識させられたと言える。

郵政民営化で巨大プロジェクト

このほか, 10月1日の「郵政民営化」に伴う大規模なシステムの再編の話題も見逃せない。「情報システム」サイトでも扱ったが, プロジェクト・マネジメントの観点から確認しておく。

日本郵政公社は民営化により, 日本郵政グループの持ち株会社と4つの事業会社に生まれ変わった。それまでの2年間にわたり, 投資額が1000億円規模, 総開発規模が4万3000人月という, 空前の巨大システム開発プロジェクトが遂行されたのである。民営化直後はいつくかのシステム障害が発生したものの, 日本郵政は概ね無難にビジネスを船出させた。とはいえ今後も新たな事業展開に向けたシステム案件を数多く抱えており, 2008年も引き続きウォッチしたい。(吉田 琢也=ITpro)

1 重要なソフトは外注せず自分で作る

2 用語解説: ユーチューブ(YouTube)

3 全日空システム障害はデータ滞留が焦点に, 通信機器は前日に兆候も

4 全日空システムの障害原因は, 事前のシステム入れ替え

5 制震構造のシャープ亀山工場, 震度5強でも被害なし

6 「働きがいのある会社」を取り戻せ
——IIJが日本生まれのIT企業でトップになった理由7 【能登半島地震】
「あと5秒で地震」能登町で緊急速報, 輪島は間に合わず

8 ソフトウェア開発の基本は不変

9 JR東など首都圏の自動改札でシステム障害, 特定機種ソフト問題か

10 NTT東がフレッツの大規模障害で謝罪会見,
「1台のルーターから全域に一瞬で拡大」

11 全日空の国内システムで障害発生中, 大規模欠航が今後拡大も

16 上司が正社員でなくなる日(1)正社員だけでは限界, 社外の個人と業務委託契約

12 ANA障害の原因判明 「世界4例のスイッチ故障がきっかけ」

17 経済産業省がJ-SOX向け「IT統制」の指針を公開, 具体例を豊富に記載

13 第14回 パソコン一人1台体制の罫

18 iPhoneの大ヒットを阻む, 日進月歩のスマートフォン市場

14 最も大事な地上伝送路, ソフトバンク基地局大量停止の理由

19 【自動改札障害】盗難カードの管理プログラムが問題, 原因は不明

15 不一家事件で痛感した 「内部統制」の限界

20 日本ユニシス, ANAのシステム障害原因を「究明中」と表明